

1. パブリックコメントの実施状況

意見募集期間 平成31年2月13日（水）～ 3月5（火）

意見を頂いた人数 7名 ※提出方法（持参2、メール5）

頂いた意見の件数 14件 ※1件は非公表希望

2. ご意見・ご提案の概要と町の考え方

	ご意見・ご提案の内容	与那原町の考え方
①	階段の蹴上げ（高さ）と踏み面（幅）はどうなっていますか。現庁舎より低く、幅も大きく取って欲しい。	現庁舎は、蹴上げ（高さ）200mm、踏み面（幅）270mmですが、新庁舎では、東側メイン階段：蹴上げ150mm、踏み面300mm、西側サブ階段・町民ホール棟：蹴上げ155mm、踏み面300mmで計画しており、人に優しい庁舎としています。
②	トイレは、利用しやすい洋式タイプを希望します。また、ウォシュレットや擬音機能を付けて欲しい。	洋式タイプの洗浄機能、擬音機能付きの衛生器具を設置する予定です。
③	座席数が少なく、利用内容に限りがある。コンサートや発表会などに非常に利用しづらいと思われま。また防音についても明記されておらず、どの程度のホールなのか、具体例（既存のホール名）があれば分かりやすい。	座席数は、社会福祉センターのホール利用者数も考慮しながら、様々な団体が使用しやすい数（大きさ）として決定しています。防音性能については、劇場や音楽室といった室内と同等の性能を計画しています。多目的に使用できるホール・集会場を想定していますので、コンサートホールのような防音性能までは計画していません。
④	現在、町内の団体は町にホールが無い為、他市町村のホールを利用せざるおえない状況です。他の市町村に使用料を支払う状況勿体ない。最低限の500席（出来れば800～1000席）は確保しなければ利用する団体が限られ、結果利用頻度にも限りがあるホールになります。	平成29年度の社会福祉センターホール利用団体の内、200名以上の利用回数は、年間10数回程度となっております。利用団体の多くが、200名以下の利用となるため、検討した結果、370席程度が適当と判断しています。
⑤	舞台の図案をみたところ間口が9メートル奥行が6メートルとなっておりますが、最低でもコンサート間口は18メートル奥行14メートルがないと一般的なコンサートや舞台公演は出来ないかと思われま。 （南城市文化センターシュガーホールや南風原公民館など参照）	限られた敷地の大きさや形状、観客席から舞台を見る方向（サイトライン）を考慮した結果、今回の計画としています。また、町民ホール棟は、ホール機能だけでなく、各種検診や保健指導等を行う健康づくり機能を有した保健センターとしての役割も担うため、ホールや舞台の大きさには制限があります。

<p>⑥ 座席を収納タイプにすれば、災害時等の避難場所としての活用もできるはずです。新しく建設するのであれば、与那原町の芸術及び文化事業者が利用できるホール、町民に利用しやすいホールを作って頂きたいと思えます。</p>	<p>ご提案の通り、町民ホールへは、可動式の座席を計画しており、座席が不要なときは、西側の壁に収納できるような設備を計画しています。</p>
<p>⑦ 庁舎への国道からのアクセス（進入道路計画）も検討してもらいたい。</p>	<p>将来計画道路として、国道329号線から庁舎南側へアクセスできる道路を計画しています。他の道路事業等もあるため、整備時期は未定ですが、町の上位計画でも位置付けられています。</p>
<p>⑧ 与那原町にホールを作るのであれば、様々なコンサートや舞台公演の行える大きさが欲しいと思えます。原案のホールの大きさでは、出来ることが限られてしまい、結果として町民が足を運ぶ機会が減ってしまうのではないかと懸念しています。近隣市町村のホールと同サイズ以上を希望します。できれば800～1000席クラスのホールが建てられれば、与那原町のホールを利用する価値があがり、町外からの利用も増え、大きな収入につながるのではと考えます。しかし予算、敷地面積等の関係上そこまでは無理なのであれば、せめて同程度のものを希望します。町内の団体は、現状、シュガーホールや南風原町市民ホール、さわふじホール等に多額のお金（町外利用のため）を支払って利用している状態です。町民の皆様に見ていただきたくても、遠くまで足を運んでもらうことになりません。非常に勿体ないことです。また、様々な舞台公演を開催するうえで、舞台や舞台裏の広さ、幅に関しても、近隣のホールと同程度のスペックを希望します。</p>	<p>④番、⑤番で回答した理由から、現計画となっております。近隣市町村にあるホールと同等の規模・性能は、敷地の問題、予算面からも非常に厳しい要望となります。 加えて、利用者の絶対数も限られているため、近隣市町村のホールと利用者数を取り合う形となるため、収入が増えることが見込まれたとしても厳しい運営状況になると考えております。 また、町民ホールの規模・座席数等については、庁舎建設検討委員会（有識者や町内各種団体代表者で構成）にて近隣市町村を視察した上で決定しており、与那原町に合った計画になっていると判断しております。</p>
<p>⑨ 今まで福祉センター、コミュニティセンター、上の森の体育館等で出来ていたことではなく、今まで与那原町内で出来なかった催事をぜひ町内で。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>活用・運用方法等についても今後、検討していきます。</p>
<p>⑩ 座席数を見ましたら368席とありましたが、とても席数が少ないと思えます。那覇市民会館がなくなり私発表会を行う民謡団体はホール探しに大変苦労しております。その為、南風原中央公民館や西原さわふじホールなどを利用しております。もし、与那原町民ホールができましたら座席数を500席から600席あると利用者さんも増えると思えます。368席だとホールとしてはとても小さく活用が限られてくると思えます。ぜひ近隣市町村にない町民ホールを作って頂きたいです。</p>	<p>④、⑤、⑧の回答と同様の理由となります。</p>

<p>⑪ 舞台袖などのスペースが気になります、舞台袖スペースを大きくとりますと演者さんや演奏者さん、舞台スタッフの動きがしやすく利用しやすいと思います。</p>	<p>建物自体の大きさから舞台袖に取れるスペースが限られていますが、袖幕等を設置・活用することで利用者の利便性が向上できるよう検討していきます。</p>
<p>⑫ 舞台の大きさを拝見しましたところ、間口が9メートル、奥行き6メートルとありました、とても小さく感じられます。最低でもその倍必要性があると思います。大きいステージが作ってもらいますと演出もこだわる事ができます。南風原中央公民館は、天井バトンが上がりません、もし可能であればバトンが上に上がる作りだとお芝居をする幕を吊り下げたりする事ができます。</p>	<p>実施設計で詳細を検討していきますが、天井バトンは昇降機能付きを設置したいと考えています。</p>
<p>⑬ 最後に控え室の数も多くあると利用者さんは喜びます。舞台同様控え室の広さや控え室の数はホール選びの重要性となります。</p>	<p>控室（楽屋）については、3部屋用意しており、現状より部屋数及び使い勝手の良いものになると考えております。</p>